

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： キヤノン インクタンク PFI-101PGY
 製品コード： 0893B
 会社名： キヤノン株式会社
 住所： 〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2
 問合せ先： キヤノンマーケティングジャパン株式会社 製品安全推進担当
 住所： 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 電話番号： 03-6719-9729
 推奨用途及び使用上の制限： インクジェットプリンタ用インク

2. 危険有害性の要約

GHS分類（項16. その他の情報 参照）：
 分類されない
 GHSラベル要素：
 なし
 GHS分類に該当しない他の危険有害性：
 なし

3. 組成及び成分情報

単一製品又は混合物の区分： 混合物

| 成分： 化学名又は一般名 | 濃度又は 濃度範囲 | 化学特性 (分子式) | 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) | CAS番号 |
|-----------------|--------------|--|-----------------------|-----------|
| グリセリン | 10 - 15 | C ₃ H ₈ O ₃ | (2)-242(化審法) | 56-81-5 |
| エチレングリコール | 5 - 10 | C ₂ H ₆ O ₂ | (2)-230(化審法) | 107-21-1 |
| カーボンプラック | < 1 | C | なし | 1333-86-4 |
| 銅化合物 | < 1 | 営業秘密 | 営業秘密 | 営業秘密 |
| ラクタム | 5 - 10 | 営業秘密 | 営業秘密 | 営業秘密 |
| 水 | 60 - 80 | H ₂ O | なし | 7732-18-5 |

製品安全データシート

4. 応急措置

吸入した場合：

症状があれば、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の助言を得る。

皮膚に付着した場合：

石鹼や刺激の弱い洗剤を使い、水で良く洗浄する。

刺激が残る場合は、医師の助言を得る。

目に入った場合：

直ちにほどよく温かい、ゆるやかな流水で5分間、または取り除かれるまで洗浄する。

刺激が残る場合は、直ちに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

口をすすがせる。コップ1、2杯の水を飲ませる。

刺激や不快感が生じた場合は、直ちに医師の助言を得る。

最も重要な徴候及び症状：

吸入： 通常の使用条件下での悪影響は予測されない。
 蒸気やミストに過度に暴露すると、呼吸器の刺激や咳、めまい、眠気、頭痛、吐き気
 を起こす可能性がある。

経口： 腹痛や下痢、めまい、眠気、倦怠感、頭痛、吐き気、嘔吐を起こす可能性がある。

目： わずかな刺激性があるかもしれない。（項11. 有害性情報 参照）

皮膚： 刺激性および感作性は予測されない。（項11. 有害性情報 参照）

慢性影響： 通常の使用条件下での悪影響は予測されない。

5. 火災時の措置

消火剤： 二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤

使ってはならない消火剤： なし

特有の危険有害性： なし

消火を行う者の保護： 必要に応じ、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置： 目や皮膚、衣服に付かないようにする。

環境に対する注意事項： 河川や下水に流さない。

除去方法： 濡れた布や紙で拭き取る。

製品安全データシート

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策： 目や皮膚、衣服に付かないようにする。
 もし付いた場合は、速やかに洗浄する。

局所排気・全体換気： 通常の手扱いにおいては、特別な換気設備は不要。

注意事項： なし

安全取扱い注意事項： なし

保管：

技術的対策： なし

保管条件： 日光を避け、涼しい所に保管する。
 子供の手の届かない所に保管する。

容器包装材料： 適用外
 (本製品は、他の容器包装へ移し替えて保管することを意図されていない。)

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 通常の手扱いにおいては、特別な換気設備は不要。

| 製品： | 労働安全衛生法 日本産業衛生学会 | | ACGIH TLV |
|---------------------|-----------------------|--|--|
| | 管理濃度 | 許容濃度 | |
| インクジェットプリンタ用 インク | 設定なし | 設定なし | 設定なし |
| 成分： | | | |
| グリセリン | 設定なし | 設定なし | グリセリン ミスト： TWA 10 mg/m ³ 天井値 100 mg/m ³ (エアロ ゾル) TWA 3.5 mg/m ³ |
| エチレングリコール | 設定なし | 設定なし | |
| カーボンブラック | 3.0 mg/m ³ | 第2種粉塵： 4 mg/m ³ (総粉塵) 1 mg/m ³ (吸入性粉塵) | |

保護具：

呼吸器の保護具： 必要 不要

目の保護具： 必要 不要

皮膚及び身体の保護具： 必要 不要

製品安全データシート

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|-----------|
| 外観(物理的状态・形状・色) : | 液体・ブラック |
| 臭い : | 微臭 |
| pH : | 8 - 9 |
| 融点・凝固点(°C) : | データなし |
| 沸点・初留点・沸騰範囲(°C) : | データなし |
| 分解温度(°C) : | データなし |
| 引火点(°C) : | 引火点なし(推定) |
| 自然発火温度(°C) : | データなし |
| 燃焼性 : | 適用外 |
| 爆発範囲・爆発特性 : | なし(推定) |
| 蒸気圧 : | データなし |
| 蒸気密度 : | データなし |
| 比重(密度) : | 1.0 - 1.1 |
| 溶解性 : 水溶性 : | 可溶 |
| 脂溶性 : | データなし |
| n-オクタノール/水分配係数 : | データなし |
| 粘度(mPa·s) : | 1 - 5 |
| その他のデータ : | なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|--------------|---|
| 安定性 : | <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 |
| 危険有害反応可能性 : | なし |
| 避けるべき条件 : | なし |
| 混触危険物質 : | 酸、塩基、酸化剤、還元剤 |
| 危険有害な分解生成物 : | 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物 |

製品安全データシート

1 1. 有害性情報

急性毒性：

吸入： データなし

経口： データなし

経皮： データなし

皮膚腐食性・刺激性：

ラビット Non-irritant (推定)

OECD Guidelines No. 404 (2002), 2004/73/EC Method B4

眼に対する重篤な損傷・刺激性：

ラビット Mild irritant (推定)

OECD Guidelines No. 405 (2002), 2004/73/EC Method B5

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

皮膚： マウス Non-sensitizer (推定)

OECD Guidelines No. 429 (2002), 2004/73/EC Method B42

生殖細胞変異原性：

Ames試験 (ネズミチフス菌、大腸菌)： 陰性

発がん性：

カーボンブラックの発がん性分類：

日本産業衛生学会 第2群B (人に対して恐らく発がん性があると考えられる物質。証拠が比較的十分でない物質。)

国際がん研究機関(IARC) 2B (人に対して発がんの可能性のある物質。)

国際がん研究機関(IARC) はカーボンブラックの発がん性について、人での証拠は不十分であるが、動物での十分な証拠があると評価し、グループ2Bに分類した。動物での十分な証拠とは、ラットに粉末カーボンブラックを慢性的に吸入暴露させた結果、肺の粒子過負荷を生じる量で暴露されたラットに肺腫瘍が生じたことに基づいている。ただし、通常の使用条件においては、粉末カーボンブラックの吸入暴露量は無視しうる量である。

生殖毒性：

データなし

特定標的臓器毒性-単回暴露：

データなし

特定標的臓器毒性-反復暴露：

データなし

吸引性呼吸器有害性：

データなし

その他：

なし

製品安全データシート

1 2. 環境影響情報

| | |
|----------|-------|
| 生態毒性： | データなし |
| 残留性・分解性： | データなし |
| 生体蓄積性： | データなし |
| 土壌中の移動性： | データなし |
| 他の有害影響： | データなし |

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 使用済みのインクタンクは、所定の回収窓口または回収スタンドに持ち込む。
 または、国の法律や地方自治体の条例に従って廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

| | |
|----------------------|-------|
| 国連番号： | 該当しない |
| 国連輸送品名： | 該当しない |
| 国連分類： | 該当しない |
| 国連容器等級： | 該当しない |
| 海洋汚染物質 (IMDGコード)： | 該当しない |
| 特別な注意： | なし |

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物／通知対象物：対象外
 化学物質排出把握管理促進法（化管法） 第一種／第二種指定化学物質：該当しない
 毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物：該当しない
 消防法 危険物及び指定可燃物：該当しない

1 6. その他の情報

GHS分類の補足：
 分類は下記を参考にした。
 物理化学的危険性：国連GHS文書
 ただし、引火性液体区分3、区分4については、継続燃焼性がない場合は「区分外」とした。
 健康および環境有害性：JIS Z 7252（GHSに基づく化学物質等の分類方法）
 分類結果が「分類対象外」、「区分外」、「分類できない」の場合、「分類されない」と示した。
 用語：
 ・推定：類似製品または成分のデータに基づく推定

製品安全データシート

引用文献：

- ・ 労働安全衛生法 管理濃度
- ・ 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・ 米国 産業衛生専門家会議 (ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・ 世界保健機構 (WHO) 国際がん研究機関 (IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語：

- ・ 化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- ・ 安衛法：労働安全衛生法
- ・ 化学物質排出把握管理促進法（化管法）：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- ・ GHS：Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）
- ・ ACGIH TLV：American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values（米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- ・ TWA：Time Weighted Average（時間加重平均）
- ・ STEL：Short Term Exposure Limit（短時間暴露限界値）
- ・ IARC：International Agency for Research on Cancer（国際がん研究機関）
- ・ IMDGコード：International Maritime Dangerous Goods Code（国際海上危険物質規則）
- ・ JIS：Japanese Industrial Standards（日本工業規格）

本製品安全データシート（MSDS）は、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、MSDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本MSDSは、その記載内容を保証するものではありません。